

確認しよう、その時とるべき行動を

速やかな避難をしていただくため、防災情報の意味を直感的に理解しやすいよう、表のとおり5段階の警戒レベルが設定されています。町や気象庁から発表される情報に注意し、早めの避難を心がけましょう。

警戒レベル	状況	行動を促す情報	住民がとるべき行動	警戒レベル相当情報
5	災害発生 または切迫	緊急安全確保 ※町が発令	命の危険 直ちに安全確保!	・大雨特別警報 ・氾濫発生情報
警戒レベル4までに必ず避難				
4	災害のおそれ高い	避難指示 ※町が発令	危険な場所から 全員避難	・土砂災害警戒情報 ・危険度分布「非常に危険」(うす紫) ・氾濫危険情報
3	災害のおそれあり	高齢者等避難 ※町が発令	危険な場所から 高齢者等は避難	・大雨警報(土砂災害) ・洪水警報 ・危険度分布「警戒」(赤) ・氾濫警戒情報
2	気象状況悪化	大雨・洪水注意報 ※気象庁が発表	自らの避難行動を確認	・大雨注意報 ・洪水注意報 ・危険度分布「注意」(黄) ・氾濫注意情報
1	今後の気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 ※気象庁が発表	災害への心構えを高める	・早期注意情報(警報級の可能性)

▼問い合わせ先
舟形町住民税務課危機管理室
☎(32)0155

この文を読み終えたあとに起こるかもしれない。自分を守る準備の確認をしていたら、災害に備えましょう。

▼落ち着いた避難行動を

「自分を守る準備」は、避難情報、災害に備えた常備品など、平時に確認をしておくこと、行動が明確になり、落ち着いた行動がとれると思えます。

「自分を守る準備」は、避難情報、災害に備えた常備品など、平時に確認をしておくこと、行動が明確になり、落ち着いた行動がとれると思えます。



住民税務課危機管理室係長
防災士 宇都木 俊昭

備えよ、常に

～顕著な大雨に関する気象情報に注意～

平成30年8月5日から6日にかけて雨が降り続き、総雨量は堀内地区で290ミリ、舟形地区で283ミリという記録的豪雨に見舞われました。その影響で最上小国川などの氾濫や、土砂災害が発生し、最大で471名が避難所などへ避難しました。

豪雨を引き起こす原因となる線状降水帯。これは、次々と発生する発達した雨雲が列をなし、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される強い降水をともなう雨域です。また、気象庁気象研究所によると令和5年までの15年間に国内で発生した線状降水帯のうち、午後10時台から午前6時台にかけてできたものが全体の半数超になるというデータがあります。詳しいメカニズムは不明なものの、深夜から早朝は危険性が伝わりにくく避難も難しいため、気象庁や町からの事前の情報や、各自の早めの備えが重要になります。

いざというときに落ち着いて行動できるよう、常日ごろから防災の正しい知識を身に付けておきましょう。

平成30年8月豪雨災害 気象情報と町の対応

※行動を促す情報は平成30年当時のものです。

8月5日(日)

- 午後2時2分 大雨警報 発令
- 2時25分 土砂災害警戒情報
- 2時30分 警戒1号配備
- 2時45分 防災無線広報
(大雨警報発令による注意喚起)
- 3時15分 防災無線広報
(洪水に関する注意喚起)
- 6時43分 大雨洪水警報 発令
- 7時30分 管理職招集
- 11時00分 対策本部設置

8月6日(月)

- 午前0時00分 避難所開設(中央公民館)
- 0時45分 避難所開設(生涯学習センター)
- 2時00分 避難所開設(農村環境改善センター)
- 3時00分 避難所開設依頼(長者原・富田・福寿野公民館)
- 3時40分 避難勧告(町全域)
- 3時49分 エリアメールで周知
- 3時52分 防災無線で周知
- 午後1時31分 洪水警報 解除(洪水注意報に)
- 5時50分 大雨(土砂災害警戒情報)警報 解除(警報に)
- 6時40分 大雨警報 解除
- 6時40分 避難勧告 解除 避難所 閉鎖
- 6時50分 防災無線広報(避難勧告解除)